

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 333 号	氏名	三馬 聡
学位審査委員	主 査 宮崎 泰司 副 査 下川 功 副 査 酒井 英樹		
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、空腹時インスリン値、空腹時アディポネクチン値と肝がんの予後、進展との関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 肝がん患者 140 名を空腹時インスリン値、空腹時アディポネクチン値によってそれぞれ高値群と低値群に分けて臨床成績を比較しており、群間の背景を十分に比較し、多変量解析を用いるなどバイアスを除くようデザインされている。さらに適切な統計学的解析法を用いて生存とがんの進展に関して解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、空腹時インスリン値が腫瘍進展早期の例においては多変量解析を用いても有意な予後予測因子、腫瘍再発の予測因子として抽出されることを示しており、今後の肝がんに対する治療選択研究への発展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は肝臓腫瘍学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			